



ひろうら

茨城町立広浦小学校
 学校だより
 平成26年12月4日発行
 第17号



読書活動の充実 図書室の充実



11月19日(水)から毎週水曜日の午前中、町図書館からお二人の方が本校図書室に来てくださっています。これは町の読書活動推進の取組である図書館支援事業によるものです。お二人の図書館支援の方(樫村さん、中村さん)は、子どもたちがもっと本に興味をもってくれるようにと、新刊コーナーを設置してくださったり、本の紹介のためのポップを作ってくださったりしています。ポップを読んでは、実際に本を手取る子、整えてくださった新刊コーナーから本を借りる子、これまで以上に図書室に足を運ぶ回数が増えた子など、よい変化がさっそく見られています。



12月3日(水)昼休みに行われた読書集会では、お二人の紹介をしました。樫村さん、中村さんの自己紹介を聞いて、ますます図書室に足を運ぶ子が増えてきそうです。

掲示・図書委員会の児童が計画してくれた読書集会の様子については、次号でご紹介します。

ところで、先月は親子読書へのご協力をありがとうございました。期間は終わりましたが、親子で同じ本を話題にしたり、感動した本、おもしろかった本などを紹介し合ったりしてみませんか。「もっと本を読むといいんだけど」と願う方も多いのでは…。折に触れて、引き続き親子読書をしてみませんか。

「レイクヒルひぬま」との交流学習

11月18日(火)

1～4年の児童が介護老人保健施設「レイクヒルひぬま」との交流学習を実施しました。入所者の方に歌や楽器の演奏を聴いていただいたり、いっしょに踊りを踊ったりしました。その後、入所者の方の肩たたきもしました。

たくさんの方との出会いが、子どもたちを育ててくれています。



児童の発表



肩たたき交流

校内マラソン大会 11月28日(金)

校庭や沿道で、保護者、地域の皆様からあたたかい声援をいただきました。声援から元気をもらい、児童はゴールめざして、一生懸命走ることができました。ありがとうございました。



校内のコースに戻ってきて最後のデットヒート



表彰式でのメダル授与
(各学年男女1位の児童)

ありがとうございました

児童の教育活動支援のために清水 耕子様(後谷)から雑巾35枚をいただきました。さっそく使わせていただきます。



ひろうら

茨城町立広浦小学校
学校だより
平成26年12月8日発行
第18号

読書集会 本と仲良くなろう大作戦



12月3日(木)ロング昼休み

先月は、掲示・図書委員の児童が、「親子読書」や「読みきかせ」、おすすめの本を他学年にも紹介する「読書郵便」を進めてくれました。今回は、「本を読むとどんないいことがあるか」について各学年ごとに短時間で意見を出し合い、それぞれの考えを聞きました。さらに、読みきかせやたくさん本を借りている人の紹介、図書館支援の方の紹介がありました。

掲示・図書委員会の児童の企画によって、さらに、読書への関心が高まりそうです。



学年ごとに考えを出し合っている様子



発表の様子

ブレインストーミング「本を読むとどんないいことがあるか」各学年の考え

<1年>

- ・頭がよくなる
- ・本がすらすら読めるようになる
- ・字が読めるようになる
- ・勉強になる
- ・本が好きになる
- ・たくさん本が読める
- ・長い本が読めるようになる
- ・本となかよくなる
- ・細かい字の本も読めるようになる
- ・楽しくなる



<2年>

- ・頭がよくなる
- ・計算が速くなる
- ・勉強ができるようになる
- ・字を覚える
- ・本が好きになる
- ・虫のことがよく分かる
- ・言葉がはきはき言えるようになる
- ・生き物のことがよく分かる

<3年>

- ・頭がよくなる
- ・字がすらすら読めるようになる
- ・文章が書けるようになる
- ・ものしりになる
- ・本が好きになる
- ・読むことが楽しくなる
- ・分からない言葉が分かる
- ・昔のことが分かる
- ・伝記を読むといろいろ分かる



<4年>

- ・記憶力が高まる
- ・楽しくなる ウキウキする うれしくなる
- ・笑顔になる
- ・もっと読みたくなる
- ・元気が出る
- ・悲しくなる
- ・いろいろなことが分かる
- ・人物の気持ちが分かる
- ・相手の気持ちを考えられる
- ・ものしりになる



<5年>

- ・頭がよくなる
- ・記憶力がよくなる
- ・想像力が豊かになる
- ・知識が豊富になる
- ・勉強になる
- ・もっと読みたくなる
- ・心が温かくなる
- ・主人公の気持ちになれる
- ・明るくなる
- ・いろいろなジャンルに興味が出てくる
- ・国語が好きになる
- ・読書が好きになる



<6年>

- ・頭がよくなる
- ・漢字が読めるようになる
- ・文章がスムーズに読めるようになる
- ・想像力がつく
- ・いろいろな言葉を知ることができる
- ・心が豊かになる
- ・いろいろな情報が入る
- ・本の世界に入ることができる
- ・伝記を読むとその人から学ぶことができる



読みきかせ

アーノルド・ロベルト作「ふたりはいつしょ」から「クッキー」
島田ゆか作「かばんうりのガラゴ」



図書館支援の方の紹介



前号で紹介をした町図書館の樫村さんと中村さんです。本校の読書活動推進のために図書室を整えていただいています。



ひろうら

茨城町立広浦小学校
学校だより
平成26年12月24日発行
第19号

冬休み

明日から冬休みになります。冬休みは、伝統的な行事があり、子どもたちにとっては、他の休みよりも地域や親戚の方々とふれあう機会が多くなることと思います。このような機会を大切にしながら、ご家族ですてきな時間をお過ごしください。



充実した冬休みにするために、子どもたちが健康で安全な生活が送れますよう、学校でも地域の巡視を行います。保護者や地域の皆様も見守りをお願いいたします。

「地域との連携による学校の防災力強化推進事業」

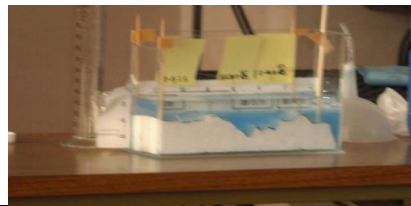
防災教室 12月8日(月)

今年も全国各地で、たくさんの自然災害が発生しました。自然災害は、いつでもどこでも起きる可能性があります。発生したときの被害を最小限に抑えるためには、安全に避難するという訓練はもちろん、自然災害について正しい知識を身につけたり、自分たちが日々生活をしている地域の特長を知ったりすることが大切だと考えます。

そこで、今回の防災教室は、茨城大学の辻永先生を講師としてお迎えし、身近な環境の特長を知ることにお話を頂きました。



潤沼側の河口から広浦小近くの潤沼の底がどのようになっているのか、満潮時にはどのように海水が流れてくるのかについて、模型に色水を流し(下の写真)分かりやすく教えていただきました。東日本大震災により、潤沼の底に変化が見られることなども伺い、子どもたちの中には、以前よりも海の魚が潤沼に増えたことと関連付けている子もいました。



身近な潤沼について知ること、地域への愛着をもったとともに、この地域ならではの防災を考えるきっかけになりました。



潤沼川探検 河口から源泉まで

12月5日(金)

茨城県環境アドバイザー派遣制度により、廣瀬誠先生をはじめ霞ヶ浦環境科学センターの3名の先生と本校4年児童が潤沼川探検に出かけました。潤沼川の各ポイントにおける水質などを行いました。



この潤沼川探検の行われた直後の防災教室(上記掲載)でしたので、4年児童にとっては重なる話もあり、他学年以上に得るものがあつたようでした。

4年児童は、この潤沼川探検等も含め、これまでの総合的な学習の時間での学びを、2月28日(土)霞ヶ浦環境科学センターで発表予定です。

第44回茨城町体力づくり駅伝大会 12/7(日) 潤沼自然公園



低学年の部
3位
高学年の部
4位

低学年の部、高学年の部に計6チーム出場

霜柱が立つ寒い日でしたが、多くの皆様からの熱い声援をいただき、出場者全員が力走しました。襷に込めた「広浦の絆」がつながりました。たくさんのご声援ありがとうございました。